



# 南魚沼市

9月定例会号

9月1日～19日

# 議会だより

No.84

2025年10月31日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 清塚 武敏  
●編集：議会広報編集特別委員会

作品紹介

タイトル

「シルエット」

八海高等学校写真部 3年

阿部 澪里

雲が少し赤く色づいている様子とススキのシルエットが綺麗で、秋らしさを感じる写真として1枚におさめました。

表紙写真については、高等学校写真部にご依頼させていただいています。



目次

令和7年度一般会計決算審議…… 2～5ページ  
議決結果…… 8～9ページ

一般質問 17名が市政を質す… 10～18ページ

# 令和6年度 一般会計決算

**歳入** 452億3,907万円

前年度比  
29億4,761万円増

**歳出** 438億 437万円

前年度比  
36億1,725万円増

**差引** 14億3,469万円



詳細は市報10月号をご覧ください→

※端数調整の都合で表示値と計算値が整合しない場合があります（以降同様）

**特集**

**令和6年度  
決算  
審議**

「決算議会」とも言われる9月定例会は、前年度の各会計で執行されたお金や事業をチェックする大切な機会です。議会でも可決された予算が適切に使われたか、事業を行った効果などについて審議しました。

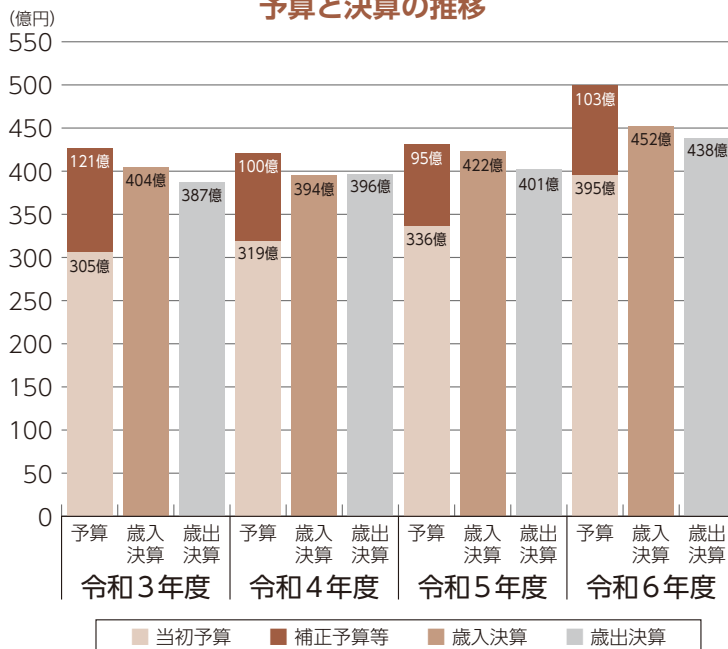
Q & Aは一部のみを掲載しています。



定例会の様子は、録画映像配信でご覧いただけます

## 令和6年度の特徴

予算と決算の推移



## 予算とは

3月定例会 当初予算

+

補正予算

||

最終予算

## 決算の流れ

3月31日 事業が終了

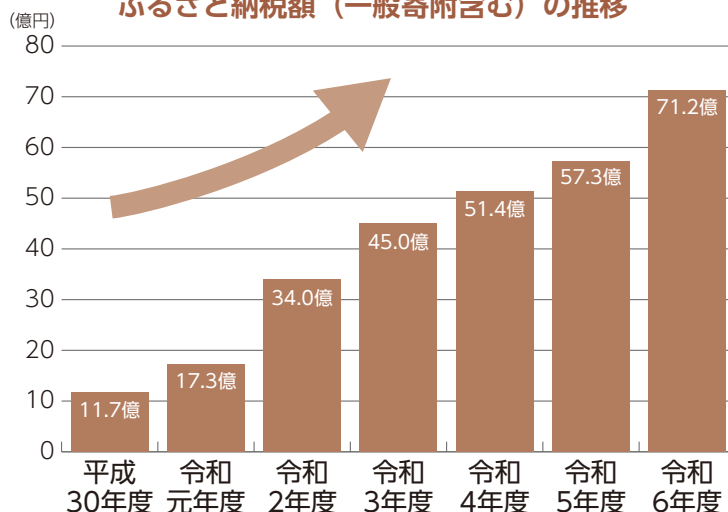


決算をまとめる

監査

9月定例会 決算審議

## ふるさと納税額（一般寄附含む）の推移



令和6年度のふるさと納税に関する現況調査結果では、南魚沼市は全国1,788地方団体のうち第18位、新潟県内では第1位となりました。

# 歳入

## ●市税

**Q** 市民税個人分と固定資産税の滞納者に関係係はあるのか。

**A** 滞納者がどの税を滞納しているかの資料は作っていないが、どの税を不納欠損したかという資料は作っている。その資料では、固定資産税の滞納が多くあり、そこに市民税や国民健康保険税の滞納が加わる人が多い傾向が読み取れる。

## ●分担金及び負担金

**Q** 児童福祉費負担金で不納欠損額が73万円ほど上がっているが、不納欠損の理由は。

**A** 主に保育園入園費の負担金である。滞納がある場合は、督促し資産も調べるが、財産がなく時効をむかえた人がいたためである。

## ●雑入

**Q** 有償資源物売却収入等（不燃ごみ）は予算から210万円減っている。予算より減った理由は。

**A** 単価が流動的で鉄に大幅な下落があった。ほかの金属類でも単価の下落があり、差が生じたためである。

# 歳出

## 保険・医療・福祉

### ●介護人材確保緊急5か年事業費

920万円

**Q** 介護施設へのアンケートでは、制度について多くの求職者が目にする機会をつくってほしいとの意見があるが、検討を始めているのか。

**A** 市民課で転入者の目につく形で窓口において広報を行っている。



### ●住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 4億8,095万円

**Q** 給付金の申請状況はどうだったか。漏れのないように、対象者にはどのような対応をしたか。

**A** 令和6年度に住民税の所得割が非課税になった人のうち、626世帯に送付した。100%とは言えないが、高い割合で給付できたと思っている。

### ●子ども家庭総合支援拠点事業費 937万円

**Q** 虐待相談の内訳でDV相談等は、どういう流れで相談に来ているのか。

**A** 当然だが、児童相談所が多い。あとは、市の保健課・福祉課から連絡がある場合や、学校・保育園関係から連絡が届く。

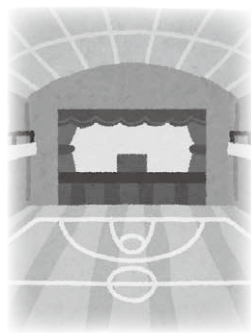
## 教育・文化

### ●小学校エアコン更新事業費

7,892万円

**Q** 最近、高温の日が続いているが今現在、体育館へのエアコン設置の検討はしているのか。

**A** 市の体育館関係のエアコン設置率はゼロ%である。いろいろな自治体の体育施設を視察し、検討している。エアコンを設置しても断熱材が入っていないとなかなか効果が出ないという課題を聞いている。今後検討を重ねていきたい。現在、新築を計画している大和中学校の体育館については、空調設備を設置する予定で進めている。



### ●特別支援教育事業費 1億3,792万円

**Q** 医療的ケア児の修学旅行対応という説明があったが内容は。

**A** 令和6年度、小学生の医療的ケアが必要な児童が修学旅行にほかの児童と同様に参加できるように配慮したものだ。バギーに乗っているということで、通常のバスに乗ることができない。また、移動中も医療的ケアが常時必要なので、別に車両を用意して修学旅行の移動を行った。それに加え、学校看護師2人を随行させたり、支援員も1人移動等の補助ということで随行させ、その部分を公費で賄い、同等に参加できるように配慮した。

## 都市基盤

### ●市民バス運行事業費

8,218万円

**Q** 令和6年に無料バスの運行を行ったことで需要が伸びたのか。

**A** 無料運行を行っていない令和5年8月の利用実績が3,614人で、無料運行を行った令和6年8月の利用実績は、4,080人であり、約1.2倍になった。

※4ページに続く

● 廃棄物処理施設一般管理費

5,399万円

Q 市の指定ごみ袋の強度が弱くなっているのではないかと。

A プリントミスや裁断ミスによる苦情は年に1回程度あるが、強度に関しての苦情は令和6年度にはなかった。

産業振興

● 農業振興補助・負担金事業

49万円

Q 北里大学の学食に南魚沼産コシヒカリを使用しているが反応は。

A 学生から学食のお米が美味しいと好評を得ていると大学から聞いている。市内での就職などにつながっていけばと期待している。

● 道の駅南魚沼管理運営費

4,324万円

Q 道の駅の整備と、国土交通省の広域防災拠点の整備は、同時に行うのか。

A 機能的には別だが、開発は一緒にしたいと考えている。連携していく部分などを国土交通省と協議をしながら進めていきたい。

● 企業対策事業費

253万円

Q 事業承継マッチングサイトの実績は。

A 2件登録され、1件成約した。

● 雇用対策事業費

1,718万円

Q 南魚沼マッチボックス（短時間アルバイト募集事業）の利用が増えているが、どう分析しているのか。

A 事業者に使ひ方の講習をしたり、働きたい人に向けてテレビCMを流したりして、周知に努めた結果ではないかと考えている。冬期間は県外の人も登録し、スキーを滑った後に働いたりしているのではないかとと思う。

● 水産振興事業費

49万円

Q 市内水産業の実情は。

A 食用の鯉、ニジマス等に加え、観賞用の錦鯉、金魚など生産量3万8,750キロ、生産額9,236万円で、このうち錦鯉については2,600万円くらいの売上げになっている。

行財政改革・市民参画

● 防犯対策事業費

259万円

Q 犯罪被害者等見舞金の内容は。

A 重傷者への見舞金で、10万円を3人に支給した。

● 消防団施設改修費

242万円

Q サイレン8か所の撤去が地元要望だということだが、どういう内容なのか。

A 消防団の部の統廃合により、要らなくなった部の器具庫、サイレン柱、ポンプ、それらを行政区の要望で撤去した。



● 地域活動支援事業費

4,100万円

Q ふるさとワーキングホリデーの参加者と、その後のつながりは。

A アンケート結果は、10点満点中、9.5点と高い数値で、再訪したいと答えたのは81.3%、継続して関わっていききたいと答えたのは51.7%であった。以前参加した2人が、現在地域おこし協力隊として活動している。

● 緊急時情報伝達事業費

1,489万円

Q 市では緊急時、防災メールとLINEで通知していると思うが、令和6年度の加入数はどうか。

A 令和7年9月12日現在で、防災メールが7,517件、LINEが1万8,965件の登録となっている。また、自動で電話をかけるシステムも導入しているが、その登録数は41件となっている。

防災テレホンサービスを開始しています

ご自宅の固定電話に避難情報や緊急情報などの災害に関する情報を提供するサービスを開始しています。

登録は総務課（電話 025-773-6660）へお電話いただき、必要内容を確認したうえで登録手続きを行います。

市の防災情報配信はメール、LINEをご利用ください

市民向けに災害や気象情報に関する情報をメールとLINEで配信しています。ぜひご登録ください。

▶ LINE



▶ 防災メール





## 反対

## 日本共産党議員団

独自の物価高騰対策がないので反対

県内1位となったふるさと納税など、市の独自財源を活用しての物価高騰対策や、生活支援の上乗せ策が取られなかった一方で、13億円近くの基金を積み増している。

また、急速な少子高齢化が進む中で、子育て支援と合わせて教育の一環として学校給食費の無償化を求めてきたが、物価高騰対策としての支援にとどまり、無償化に向けた動きが全くなかったため、反対。

# 一般会計 討論

要点のみ  
掲載して  
います

## 賛成

## 歩む会

起債の削減、職員の努力に感謝

歳入が限られた予算であるが、ふるさと応援活用基金の中から多くの事業を生み出すことができた。負の連鎖に楔が打てるほどの予算がない中、弱者への支援は健闘している。何もしなければ、実質公債費比率は下がる。積極的投資も必要であり、避けられない。

そのような中、起債残高は減少している。職員の努力に感謝する。

## 賛成

## 南魚みらいクラブ

市民生活へふると納税を活用

世界情勢の影響による円安、エネルギー資源高騰や物価高騰、高温渇水対策、豪雪対策に、ふるさと応援活用基金を活用しての市独自支援策は、市民生活安定に大きく寄与した。また雪資源活用事業等、将来に向けた挑戦をしながら、統合学校給食センターをはじめ大型事業も計画的に執行されたバランスの取れた決算であり、賛成。

## 賛成

## 市民クラブ

健全財政での生活環境改善を評価

山積する行政課題から今後の財政運営の困難さも感じるが、イノベーション推進等での産業雇用創出、脱炭素社会に向けた取組、医師確保や新健診施設等の保健・医療環境の整備など健康を守り、暮らしやすい環境づくり等を進めた。

そして、実質公債費比率も11.8%で維持し、将来負担比率も前年度に続き比率なしにとどめた健全な財政運営を評価し、賛成。

## 賛成

## 未来創政会

決算を認定する

移住施策でユニークな人材が移住をしてきており、特に地域おこし協力隊に関しては複数の採用で効果が現れている。ふるさと里山再生整備事業も順調で、整備が進んでいる。また、幾つもの新規創業があり、投資に見合った効果が出ている。そのほか教育に関しては、偏差値教育に偏らず社会教育活動が進んで効果が出ていることは評価できる。

## 国民健康保険特別会計

## 反対

## 賛成

国保税が高額で、低所得者などの受診抑制を招いている。市は国に負担軽減を強く求めながら、独自の軽減策を講じるべきである。

被保険者と共に負担を分かち合い、国民皆保険の制度を守る覚悟で臨むべきである。今回の決算にはその努力が表れている。

## 病院事業会計

## 反対

## 賛成

ゆきぐに大和病院の診療所化に伴い市民病院の増床など一定の成果は評価するが、入院機能喪失による市民負担や移転問題への不安は大きい。

病院事業会計は企業会計であり、赤字を容易に認めることはできないが、赤字幅を縮小し黒字化へ向けた努力を求めつつ、事業継続を期待して賛成する。

# 特別会計・企業会計 討論

要点のみ  
掲載して  
います

社会厚生委員会 令和6年度 決算審査報告

期日：令和7年9月3日

【特別会計】

Q&Aは一部のみを掲載しています。

| 会 計     |  | 歳 入        | 歳 出        | 差 引       | 議案番号 |
|---------|--|------------|------------|-----------|------|
| 国民健康保険  |  | 51億2,869万円 | 50億7,544万円 | 5,325万円   | 第81号 |
| 後期高齢者医療 |  | 7億5,783万円  | 7億4,029万円  | 1,753万円   | 第82号 |
| 介護保険    |  | 71億1,945万円 | 67億9,477万円 | 3億2,468万円 | 第83号 |

【企業会計】

※収入の収支は税抜き、資本的収支は税込みです。

| 会 計  |       | 収 入        | 支 出        | 差 引        | 議案番号 |
|------|-------|------------|------------|------------|------|
| 病院事業 | 収益的収支 | 60億6,160万円 | 62億7,698万円 | ▲2億1,538万円 | 第85号 |
|      | 資本的収支 | 16億6,980万円 | 19億 79万円   | ▲2億3,099万円 |      |

特別会計

国民健康保険

Q 特定保健指導を委託した効果はあったか。

A 健診会場に栄養士と会計年度任用職員を増やし、健診会場で初回指導をできる人数が増えたことにより、指導の実施率が令和5年度は約50%だったのに対し、令和6年度は約66%と大幅な増加につながった。

Q 国民健康保険特別会計の今後の運営については。

A 令和8年度には子ども・子育て支援金の創設で税率を上げなくてはならない状況にあるが、支払準備基金で調整できるよう考えている。これからいろいろな制度変更などもあると思うが、急激な増減につながらないような運営を心がけていきたい。また、基本的なことだが健診や特定保健指導などを一生懸命行うことにより、全体の給付額を適正にしていくことが何より大事だと思っている。

◆全会一致で認定

後期高齢者医療

Q 滞納繰越分の収納率が令和5年度30.0%から令和6年度56%と大きく上がった理由は。

A 事務の見直しを行ったことで効率化が図られ、徴収事務に割ける時間を確保することができ、収納率が上がったと考えている。徴収事務を税務課と情報共有して行ったことも効果があった。

◆全会一致で認定

介護保険

Q 事業所の休止や廃止、新設は、将来的な定員のバランス等を考慮しているのか。

A 介護保険事業計画では、必要数に対して不足分を整備する計画を立てて行っているが、物価高騰や人材不足などもあり、令和6年度は急遽、事業所内で集約したいという相談が上がってくるケースがあった。

Q 入所者がすぐに決定せず、空床が出ることは経営にかなり影響が出るが、状況は。

A 各特別養護老人ホームでは、待機順位をつけて退所する人が出るのと待機順位の上から声をかけているが、近年は在宅サービスも充実してきており、家で面倒を見たいと断られるケースがある。入所費用の問題もあるが、できれば家で見とりたいという気持ちがあるのかもしれない。

◆全会一致で認定

企業会計

病院事業

Q 一時借入金4億円を減らすことができなかったのはなぜか。

A 収入があった段階で形式的には一時借入金を返済して、また借りている状態である。総体的に見て4億円のままで返せなかった状況は、病院事業として非常に懸念している。ただ令和6年度は、人事院勧告もあり、難題が降りかかってきた状況にあった。令和7年度、令和8年度にかけては、1億円ずつ減らしていきたい。

Q 常勤医師と非常勤医師の人数は。

A 病院事業の常勤医師は28人で、令和2年度の14人から倍増した。市民病院の非常勤医師は、令和4年度は123人であったが、約30%減らし、令和7年度当初で8人になっている。

Q 待ち時間解消システムを導入し、待ち時間を短縮したいとのことだったが、どうか。

A 会計の待ち時間を平均で25分は短縮しており、受診後にすぐ帰れることで喜びの声が非常に多くある。

◆全会一致で認定

## 産業建設委員会 令和6年度 決算審査報告

期日：令和7年9月4日

## 【企業会計】

Q&Aは一部のみを掲載しています。  
※収入的収支は税抜き、資本的収支は税込みです。

| 会 計     | 収 入   | 支 出        | 差 引        | 議案番号       |
|---------|-------|------------|------------|------------|
| 水 道 事 業 | 収益的収支 | 17億4,185万円 | 16億7,181万円 | 7,004万円    |
|         | 資本的収支 | 9億7,306万円  | 18億3,924万円 | ▲8億6,618万円 |
| 下水道事業   | 収益的収支 | 30億3,608万円 | 28億8,927万円 | 1億4,681万円  |
|         | 資本的収支 | 20億1,787万円 | 27億5,718万円 | ▲7億3,931万円 |

## 利益の処分の審査

利益で積みあがった資本金を別の用途に積み立てるためには議会の議決が必要です。今定例会では、決算認定と同時に利益の処分について審査を行いました。

## 企業会計

## 水道事業

Q 漏水等の調査や確認方法は。

A 職員による確認等に加え、令和6年度から衛星データ等を活用したAIによる調査を活用し、漏水防止に努めている。

Q コスト削減のために、配水管の更新工事を他事業との同時施工とした実績は。

A 国道17号線の歩道工事で同時施工し、更新を行った。

## ◆賛成多数で可決及び認定

## 下水道事業

Q ウォーターPPPは、国の補助事業導入等に関わってくると思うが、状況は。

A 令和9年度以降はウォーターPPPを導入しないと、力を入れているマンホール蓋更新の補助金がありません。市単独ではハードルが高いので、県と連携導入する方向で検討している。

Q 下水道の処理によってつくられた汚泥を肥料にすれば、循環という部分でよいと思うが状況は。

A 汚泥の肥料・堆肥化は国も推奨しており、自治体の一部で行っている。

## ◆賛成多数で可決及び認定

## ◆第73号議案 令和7年度南魚沼市一般会計補正予算（第5号）

6億9,529万円の追加

## ●公共交通確保維持改善調査事業費 1,825万円

市民バスのAIオンデマンド交通の運用開始に向け、システム構築を行うもの。

Q 市民バスでAIオンデマンド交通の実証運行ということだが、全市的に行うのか、一部地域で行うのか。

A いち早く調整が整った上田地区で令和8年4月から実証運行を進め、順次市内全域に拡大していきたい。

## ●雪資源活用事業費 300万円

頻発する渇水被害に将来にわたる対策の一つとして、雪の活用について調査研究をするためのもの。

Q これは雪を使って渇水対策につなげる調査なのか。

A 渇水に雪資源を何らかの形で生かすためにはどんな方法があるか、また、どういった場所等に可能性があるかといった、まさにゼロからの調査となっている。

## ●医師確保緊急対策事業費 5,000万円

診療所施設等整備費補助金として、歯科医師の開業に対して補助金を交付するもの。

Q 開業する施設の規模などによって金額が変わるのか。今後何件くらいまでといった方針があるのか。

A 現在この中山間地域で開業するためには、診療報酬だけでは初期投資を回収できない問題もあり、その背中を押すために建設費の7割相当を想定している。定着するかを見据えながら進めていくが、何件まで続けるかは今答えられない。

## ●環境保全型農業直接支援対策事業費 1,411万円

化学肥料から有機質肥料等への転換や、特別栽培農産物の拡大に要する費用に対し補助金を交付するもの。

Q 県の10割補助の事業だが、具体的な内容や該当者を見込んでいるか。

A 化学肥料から有機質肥料等へ転換する販売農家や特別栽培農産物等の生産拡大に対し、10アル当たり7,500円を補助する。市内の認定農業者に調査を行い、実績によって県に申請する。

| 議案番号    | 市長提出議案                                                     | 議決結果     |
|---------|------------------------------------------------------------|----------|
| 第98号議案  | 工事請負変更契約の締結について（財開工第1号 新大巻地域開発センター新築（建築）工事）                | 可決（全会一致） |
| 第99号議案  | 工事請負変更契約の締結について（健診工第1号 健診施設等建設事業 建築工事）                     | 可決（全会一致） |
| 第100号議案 | 工事請負変更契約の締結について（健診工第2号 健診施設等建設事業 電気設備工事）                   | 可決（全会一致） |
| 第101号議案 | 工事請負変更契約の締結について（健診工第3号 健診施設等建設事業 機械設備工事）                   | 可決（全会一致） |
| 議案番号    | 請願                                                         | 議決結果     |
| 請願第1号   | 30人以下学級実現、教職員定数の改善、働き方改革、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書 | 採択（全会一致） |
| 議案番号    | 発案                                                         | 議決結果     |
| 発議第2号   | 30人以下学級実現、教職員定数の改善、働き方改革、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について    | 可決（全会一致） |
| 発議第3号   | 南魚沼市議会会議規則の一部改正について                                        | 可決（全会一致） |
| 発議第4号   | 南魚沼市議会委員会条例の一部改正について                                       | 可決（全会一致） |

## 賛否 一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表記しています。

○＝賛成 ×＝反対 棄＝棄権 欠＝欠席 除＝除斥

※議長は採決には加わりませんが、賛否が同数の場合は議長裁決となります。

※除斥（じょせき）とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加ができない制度です。

| 会派       | 南魚みらいクラブ |      |      |      |      |     |      |     | 歩む会 |      |     | 市民クラブ |       |     |      | 未来創政会 |      |      | 日本共産党議員団 |      | 無所属  |
|----------|----------|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-------|-------|-----|------|-------|------|------|----------|------|------|
| 氏名<br>議案 | 目黒哲也     | 吉田光利 | 塩川裕紀 | 清塚武敏 | 桑原圭美 | 小澤実 | 黒滝松男 | 関常幸 | 鈴木一 | 塩谷寿雄 | 牧野晶 | 梅沢道男  | 田中せつ子 | 佐藤剛 | 寺口友彦 | 大平剛   | 永井拓三 | 中沢一博 | 川辺きのい    | 中沢道夫 | 勝又貞夫 |
| 第73号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ×    | ○     | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    |
| 第78号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ×    | ○     | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    |
| 第80号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |
| 第81号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |
| 第82号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |
| 第83号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |
| 第84号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |
| 第85号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |
| 第86号議案   | ○        | ○    | ○    | ※    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○     | ○     | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ×        | ×    | ○    |

## 令和7年9月定例会の全議決結果

(傍聴者 51人 (延べ))

議決結果の詳細は  
ウェブサイトでご覧いただけます→

| 議案番号   | 市長提出議案                                                 | 議決結果             |
|--------|--------------------------------------------------------|------------------|
| 第19号報告 | 専決処分した事件の承認について（令和7年度南魚沼市一般会計補正予算（第4号））                | 承認（全会一致）         |
| 第73号議案 | 令和7年度南魚沼市一般会計補正予算（第5号）                                 | 可決（賛成多数）         |
| 第74号議案 | 令和7年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）                           | 可決（全会一致）         |
| 第75号議案 | 令和7年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）                          | 可決（全会一致）         |
| 第76号議案 | 令和7年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）                             | 可決（全会一致）         |
| 第77号議案 | 令和7年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第2号）                               | 可決（全会一致）         |
| 第78号議案 | 令和7年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第2号）                               | 可決（賛成多数）         |
| 第79号議案 | 令和7年度南魚沼市下水道事業会計補正予算（第1号）                              | 可決（全会一致）         |
| 第80号議案 | 令和6年度南魚沼市一般会計決算認定について                                  | 可決（賛成多数）         |
| 第81号議案 | 令和6年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について                            | 可決（賛成多数）         |
| 第82号議案 | 令和6年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計決算認定について                           | 可決（賛成多数）         |
| 第83号議案 | 令和6年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について                              | 可決（賛成多数）         |
| 第84号議案 | 令和6年度南魚沼市水道事業会計利益の処分及び決算認定について                         | 可決及び認定<br>（賛成多数） |
| 第85号議案 | 令和6年度南魚沼市病院事業会計決算認定について                                | 可決（賛成多数）         |
| 第86号議案 | 令和6年度南魚沼市下水道事業会計利益の処分及び決算認定について                        | 可決及び認定<br>（賛成多数） |
| 第87号議案 | ゆきぐに健友館A I 条例の制定について                                   | 可決（全会一致）         |
| 第88号議案 | 南魚沼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について                         | 可決（全会一致）         |
| 第89号議案 | 南魚沼市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について                           | 可決（全会一致）         |
| 第90号議案 | 南魚沼市火入れに関する条例の一部改正について                                 | 可決（全会一致）         |
| 第91号議案 | 南魚沼市立中之島診療所条例の一部改正について                                 | 可決（全会一致）         |
| 第92号議案 | 南魚沼市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について                   | 可決（全会一致）         |
| 第93号議案 | 南魚沼市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について   | 可決（全会一致）         |
| 第94号議案 | 南魚沼市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決（全会一致）         |
| 第95号議案 | 南魚沼市議会議員及び南魚沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について         | 可決（全会一致）         |
| 第96号議案 | 南魚沼市大和B & G海洋センター条例の廃止について                             | 可決（全会一致）         |
| 第97号議案 | 字の変更について                                               | 可決（全会一致）         |



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



南魚みらいクラブ

塩川 裕紀  
しおかわ まさき



## 児童生徒の不登校について

**Q** 在宅学習やリモートでの学校参加を認める柔軟な対応について市の方針は。

**A** 学校では在宅での学習を支援するために、学習課題の提供やリモートでの授業配信、学習用端末への課題の配信など工夫して行っている。リモートでの学習や学校外での学習を登校とみなすかは、文部科学省の通知により条件が定められている。訪問などによる対面指導が定期的かつ継続的に行われていることや、校長が学習の状況を把握することなどの条件を満たせば出席とすることができ。現在までに市ではそれを認められた例はないが、児童生徒の希望に沿って柔軟な対応ができるように努めていく。

ンで通える居場所を整備する考えは。

**A** メタバースを活用した

不登校支援のメリットは、

メタバース空間において、自分の分身であるアバターを介した他者との交流や活動により自宅以外の居場所を持つことができることだ。また、自宅にいないが参加できることから、心理的なハードルが低いとも言われている。決まった時間に参加することで生活習慣が改善することや、活動を通じて達成感を得られることなどが期待されている。外部とつながる機会ができることで児童生徒に必要な支援を探ることもできる。このような支援体制をつくるにはメタバース空間の整備だけではなく、その先の支援にどうつながって行くか組織的な支援体制の整備が必要であると考えている。市においては、現段階では検討していないが、児童生徒の居場所が生まれるのであれば実現させたい。

**Q** メタバースを活用し、自宅にいながらオンライン



市民クラブ

寺口 友彦  
てらぐち ともひこ



## 保育園適正配置に複合施設の考えを生かせ

**Q** 宮保育園と西五十沢保育園の統合、上町保育園の閉園に向けた準備が進んでいる。ゼロ歳児から集まれる場所、子ども発達支援センター、小・中学生、高校生の遊び場や探検教室、上の世代との交流など幅広く集まる複合施設を基本方針に加える考えはないか。

**A** 複合施設としての統合、新施設建設は現段階では検討していない。しかし、現在の少子化の現状は大変な状況だ。これを踏まえて、保育園の適正配置を検討していく。複合施設をタブー視するものではない。公共施設の統廃合など、至急検討する機会を設ける。

## 道の駅再整備で魚野川堤防の強化を図れ

**Q** 国は国道の集中降雪時の車両滞留解消を含めた防災機能強化の検討を打ち出した。道の駅周辺で市の除雪基地や防災施設の整備とどう連携させるのか。

**A** 国がどのような機能を備えるかなど具体的な内容はまだ決定していないが、防災上のもは国と市で一体型にすることは間違いない。しかし、切り分けて考える。道の駅を先行しながら一体的に進める。滞留対策は一応切り分けた事業になるが、測量など一体で準備したほうがよい。道の駅のスケジュールは計画どおりだが、市で除雪基地が必要になれば土地は買い増す形になる。



市民クラブ

田中 せつ子



ゆきぐに健友館Aーを活用した健康づくり推進を

Q

令和6年度の特定健診受診率の目標は60%だが、実績は50.2%と未達成だ。取組状況と評価は。

A

新型コロナウイルス感染症の影響で、受診率は低下した。令和6年度は住民健診調査票の提出がない対象者には実施通知書、未受診者には葉書を送付し、受診勧奨チラシも配布した。

Q

新健診施設の調理室や交流スペースを活用し、受診率アップにつなげる考えは。

A

各種の保健事業や介護予防事業の会場として活用し啓発したい。

Q

厚生労働省の通知では勤務先の健診も含めたがん検診の受診歴把握を令和8年度から努力義務とするが、市の準備はどうか。

A

個人情報保護の観点から本人の同意が必要だが、協会けんぽや他の保険者、医療機関、健診施設等との連携を検討し早期に導入したい。

Q

令和8年度の住民健診や人間ドックの申し込み方法や内容に変更はあるか。

A

令和8年度は従来どおりの予定である。助成額の引き上げは予定していない。

Q

受診のための交通手段の確保はいつ具体的に示されるか。

A

12月末の住民健診調査票に同封し、送迎バスの利用希望を把握する予定である。

市民バスの利便性向上について

Q

ゆきぐに大和病院の診療所化に伴い入院機能が市民病院に集約されたが、大和地域から乗換えなしで市民病院まで行く交通手段がない。そこで、大和地域包括医療センターから市民病院への直通の市民バスを運行する考えはないか。

A

本当によいのは直通かもしれないが、十分な本数のバスを運行している。効率的な運行の観点から大和地域と六日町地域をまたぐような広域の移動は、鉄道または路線バスが担うべきで、直通バスの運行は現時点では考えていない。

Q

デマンド交通導入に向けた実証実験を始めるが、どのような内容を検討しているのか。これまで全国で取り組んでいる内容は、市民バスに近いような定期路線型から完全なド



日本共産党議員団

中沢 道夫



A

上田地区では、朝晩は定時運行で子供たちの通学、日中の時間帯は、オンデマンドでいろいろなところに行く形を考えている。路線によっては、違う可能性も出てくるが検討している段階である。

Q

地域で高齢化が進み、運転免許証を返納する高齢者も増えている。この地域で安心して生活をする上で、公共交通の確保は市民に対する重要なサービスだと考えるが、市長の認識は。

A

持続可能な公共交通の確保は、行政の重要な市民サービスであると思う。取り巻く課題はたくさんあるが、何としても持続可能な形を取らないといけないので、頑張りたい。



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

一般質問とは…議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたですもの。



未来創政会

永井 拓三



## 南魚沼市の市内共通リフト乗車証について

**Q** 市民に対して、誰でも買うことができる市内共通リフト乗車証へのアンケート調査を行う必要があると思うがいかに。

**A** 以前から私のところにも直接、市内共通リフト乗車証を出して欲しいと話がきている。すでにスキー場には協議しようと話をしている。アンケート調査ではなく、スキー場に誰もが購入できる市内共通リフト乗車証に取り組めないかという話をすればよいのではないかなと思っている。

**Q** 令和6年度に実施した南魚沼市民限定スキー場リフト一日割引券の利用実績はどうであったか。

**A** 5,000枚を上限としたが、1,602枚の利用実績であった。年代別の購

入割合では、40歳代を中心に幅広い年代からの利用があった。

**Q** コストはかかるが、市民の娯楽、健康増進、地域プライドの醸成、移住の推進など様々なことに市内共通リフト乗車証を使うことで効果が出ていると思う。コストと市民が求めていることのバランスを市はどのように考えているか。

**A** 市内共通リフト乗車証は、特定の層である地域の未来を築く子供たちを中心に補助対象としているが、今のところバランスがとれており、皆が理解してくれていると考えている。公費を使うわけであり、一定の評価をもらえていると思う。



南魚みらいクラブ

目黒 哲也



## 南魚沼の食のブランディングに向けて

**Q** 地域資源の食の活用に向けた体制整備は。

**A** 南魚沼産コシヒカリをはじめとする地元食材や雪国固有の食文化の魅力を体系的に整理して、飲食店、生産者、観光事業者、市民団体等と横断的に連携ができる体制が整備できるものと考えている。

**Q** 生産者や料理人等の育成や支援は。

**A** 生産者と飲食事業者の連携を強化し、食材の地産地消の推進、ローカルガストロノミー飲食店の創出、育成研修機会を提供して若手の担い手確保を考えている。

**Q** 官民共創拠点である農林水産地方創生センター創設の考えは。

**A** 食のブランディング強化は最重要課題であり、実現に向けてセンター等の設置を目指すことも含め、一つの方策と考えている。

**Q** 世界トップレベルの料理大学カリナリー・インスティテュート・オブ・アメリカ（通称CIA）と提携する考えは。

**A** CIAは日本進出に少し関心を持っている。市は非常に有用な候補地となるという思いはあるが、市単独では限界があるため国・県レベルの仕組みの中で指定都市となることを考えている。

**Q** ユネスコ食文化創造都市を目指す構想は。

**A** 市が日本国内だけでなく、国際的にも高い評価を受ける食文化創造都市となることについて、体制を整えれば目指すべき方向性である。

## 上水道の品質はどのように管理されているか



無所属

勝 <sup>かつ</sup>  
又 <sup>また</sup>  
貞 <sup>さだ</sup>  
夫 <sup>お</sup>



**Q** 畔地浄水場の大型水槽や、各地にある配水池、管路などの衛生管理はどのように行っているか。

**A** 市には畔地浄水場のほか41か所の配水池がある。大型浄水池の清掃は高圧洗浄機を使って、毎年壁の汚れなどをも定期的な洗浄作業を行っている。小規模の配水池では、専用の水中ロボット等により池の底に堆積した汚れを吸い上げ、洗浄している。常に良好な水が水道管を満たすように管理し、安心安全な水道水の供給に努めている。

水道管の洗浄については、主要な管路の末端には水質を維持するための排水用の弁が設置されており、水を使わない深夜に地域を決めて弁を開き、管内に付着した汚れを洗い流す洗浄作

業を朝までに完了するように実施している。



日常生活を支える水

## 公用車へのドライブレコーダーの取り付け予定は

**Q** 市の所有する公用車の取り付け状況と、今後の予定はどうか。

**A** 市の公用車は268台で、そのうち109台に取り付け済みで、車輦班が運行しているバスには全て取り付けられている。一般会計で管理している車両については、令和7年度と令和8年度の2年で全ての車両に取り付けるよう計画している。

## 不登校児に学校だけでなく自立のための学び場を



市民クラブ

佐 <sup>さ</sup>  
藤 <sup>とう</sup>

剛 <sup>つよし</sup>



**Q** 急増する不登校対応として、国は誰1人取り残されない学びの保障に向け不登校支援の体制強化を進めている。

不登校児童生徒の増加の背景には、テストの点数などを数値化し、学力向上を優先した環境がある。このことは、学校教育の中では重要な部分だが、逆に子供たち個々のやる気、向上心の足かせになっている場合もあり、そのために自己否定的になったり、忍耐力や学習、物事に取り組む姿勢にも影響していると感じる。

一方で、先行き不透明な時代を生き抜くために、自己肯定感や主体性等が重要と言われている。

不登校支援として学校への復帰中心の支援から、子供たちが安心できる場所で自分のペースで学び、自立し生きる力をつけ

る学校だけではない学びの場が必要だ。

総務文教委員会視察した長野市の教育支援センターSaSaLANDでは、子供たちが安心を実感できる居場所をコンセプトに進めている。子ども・若者相談支援センターもこのことに向けた機能の充実が必要ではないか。

**A** 様々な体験を子供が自発的に考えることもあるし、自発的に考えることが難しい子供たちもいる。いろいろな体験を計画することで子供たち一人一人が自立して、自分から活動に挑戦し、学習してみようということにつながるために、いろいろな仕組みをつくっている。

学校復帰だけではなく、自立して生きる力をつけるところであることは同じだが、そのアプローチの仕掛けがSaSaLANDと違わないかと考える。



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



歩む会

鈴木

木

はじめ



## 土地改良で県の採択要件の一部撤廃の要望を

Q

県では土地改良事業の採択要件として、改良部分の20%以上を米以外の果実や野菜などを作付け、販売することとしている。この要件があるため地区では話が頓挫している。市としてこの要件の撤廃を求めるときではないか。

A

採択まで何年もかかる。待っていれば、皆が亡くなってしまうような切実な話だと思つ。

市長になって以降、国の機関や北陸農政局に毎年行っている。土地改良区・地域代表・二市一町(湯沢町・南魚沼市・魚沼市)の首長と一緒に、ガンガンと言っているのはこのことである。一律に要件を課してくる。二割園芸何事か。二市一町としては受け入れられない。適地適作で、そういうことを少し緩やかに行ってもらわないと困るわ



けである。これまで以上に県に柔軟な対応を求めていく。実際は日本農政の問題にも関わることなので、予算についても農林水産省や財務省にもいろいろ訴えている。米不足の中、増産と言われているので、我々のところは違つぞと声高に一緒に頑張っていきたい。



歩む会

牧

野の

晶



## 若者定住対策を

Q

南魚沼市はたらく若者奨学金返還支援事業補助金の見直しを。

A

日本学生支援機構の大学生に対する調査結果では、2人に1人は何らかの奨学金を借りており、この返済が卒業後の経済負担となって、生活設計や結婚、出産、子育てに対する意識に影響を及ぼしていると言いつつている。

南魚沼市では、令和7年度から奨学金返済を抱える市内の若者支援と、企業の人材確保の促進を図るため支援事業補助金制度を設けたが、反応が少ないので考えたい。

Q

市内に若者が残って一定期間就労したら、祝い金を支給するべき。

A

他の制度との整合性や、財政面での持続可能性を

含め検討する。

## 雪国での自動運転の研究を

Q

雪の降らない地域に比べ、雪の降る地域での自動運転のハードルは高いと思うが、路線バス・タクシー・除雪の人手不足解消など、実現できれば市にとってのメリットがあるのではないか。

A

研究している。私自身視察に行き乗ったこともある。雪国での実現はまだ厳しいと聞いているが、技術は日々進んでいる。車両購入費、遠隔監視システムなどの費用が多額で、国の支援や時期を見据え、慎重に導入の可能性を検討していきたい。





南魚みらいクラブ

桑原圭美



### 小・中学校の教育の充実について

**Q** 安心安全で活気に満ちた学校づくりについて。

**A** 学級生活に満足している子供の割合が目標値を下回っている。QU調査で得られた結果を分析し、一人一人の子供の学級集団の状況を的確に把握して集団作りの改善を図ることで満足度を上げるように努力する。

**Q** 意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進について。

**A** 中学生の家庭学習時間が確保されていない。中学三年生の家庭学習時間は小学六年生よりも少なく、全国学力調査の結果は厳しい状況である。学習時間の確保について、保護者からも真摯に受け止めてもらいたい。

**Q** 心身の健康を育む教育環境の充実について。

**A** まず、メディア利用時間を守られていないので、家庭での利用ルールを定めてもらうよう保護者に求める。

また、メディア接触の問題は幼児期から取り組んでもらうよう、保護者へのアプローチが不可欠であると考えるところにも、眼の健康や視力の維持に関する指導も継続していく。

**Q** 夢、未来、希望を育む教育の推進について。

**A** 教育課程特例校の取組として、小学一年生から国際科の授業を実施している。早い段階から英語に親しむほか、国際理解教育を行っている。



### 保育園での食育の推進に向けた完全給食の実施を

**Q** 私立保育園は完全給食を実施しているが、公立保育園では月2回のみだ。その完全給食の日に当番の子供たちがお米を研いで、炊飯器にセツトして、炊きたてのご飯をみんなで食べている保育園もある。お代わりはご飯だけでよいという子供もおり、普通の日とは顔も全然違うと聞いている。食育そのものだ。このような保育園での取組を参考に、公立保育園でも全日完全給食を試行し、実施につなげてもらいたい。

**A** 今の話は、すごくよいところがあるが、保護者に園児の食事を把握してもらい、子育てに生かしてもらいたいとの考えもあるようだ。市長になった9年前に、炊きたてのご飯の提供を学校で行うべきと思い、相談したことがあった。どういったこ



市民クラブ

梅沢道男



とができるか、さらに検討したい。

**Q** 炊飯器の調達や保育士の負担、経費の問題等もある。私立保育園では、料金を徴収しているが、保護者の苦情はない。市長がよく言う「やれない理由を考えるのではなく、どうやったらやれるかを考えろ」という言葉は、本当にそのとおりだ。市の宝物である子供たちが、市の宝物の南魚沼産コシヒカリを食べて育つ。大変素晴らしい取組だと思うが、市長の捉え方等があれば伺う。

**A** まだ、庁内の検討が始まっていないわけではないが、一般質問として、提案も含めて本当によいと思った。市長としては、取り組むべき方向を感じる。いろいろな課題があるかもしれないが、もう少し複数の目で検討したい。



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



南魚みらいクラブ

吉田 光利



## 南魚沼ブランドの発信と育成を

**Q** 市長は南魚沼ブランドの発信と育成に注力したが、知名度の変化をどのように分析しているか。

**A** ふるさと納税寄附金受入額として全国1,788の自治体の中で18番目、地域ブランド調査では農林水産業の盛んなまちとして全国2位など大きく知名度は向上している。継続的に向上に努める。

**Q** 知名度が上がった仕掛けの一番のポイントは、ふるさと納税において、南魚沼産コシヒカリに名称を統一したことが大きかった。

**Q** 南魚沼ブランドの向上を図るための発信戦略は、

**A** 市場分析による効果的な宣伝PRを心がけ、関西圏、中京圏を意識した広告を

打つ。データに基づいた戦略を練り上げることである。

**Q** 発信戦略には、まず品質確保が一番である。他県では産地偽装によるふるさと納税停止の例もあり、品質確保には市長・執行部は鬼になってもらいたい。

**A** みんながピリツとする話である。もちろん鬼の気持ちで行う。品質管理については統一が大事と思う。

## 本庁舎外壁の汚れは修繕すべきだ

**Q** 市の顔である本庁舎外壁の汚れはイメージダウンで最優先の修繕が必要では。

**A** 庁舎の機能の維持の補修を優先し、外壁はできるかどうか検討することを約束する。

## 認知症介護の負担を軽減する施策を

**Q** 特別養護老人ホームの入所要件は、原則要介護3以上だが特例が認められている。認知症があり、要介護2以下の人を特例として施設入所が可能となるよう、市独自の施策を講じることは、家族にとっても施設運営にとっても意義があることではないか。

**A** 特例入所は市内、県内、県外ともにゼロという報告だ。要介護2以下の認知症の人はグループホームの入所要件適用となっている。グループホームでは認知症ケアに特化した支援を受けることができ、適した施設だと思う。最大で10人の待機者があり、グループホームの整備を現在進めている。今後適切な施設入所が可能となるように相談や対応に努めたい。

## 新ごみ処理施設整備と二酸化炭素削減について

**Q** 南魚沼市地球温暖化対策実行計画・事務事業編の目標にある2030年までに、2013年比で二酸化炭素排出量50%削減の達成のために、新しいごみ焼却炉での排出量をどこまで減らすのか。全体の排出量に占める廃棄物処理の割合をどのように算定しているか。

**A** 人口減少とリサイクルの推進による燃やすごみ削減の取組により、廃棄物は全体の10%の削減を見込んでいる。また、新ごみ処理施設建設後は処理方式が変わり、LPGなどの助燃剤の大部分の使用がなくなるため、二酸化炭素換算で3,714トン分、廃棄物処理の中では46.3%の削減を見込んでいる。



日本共産党議員団

川辺 きのい





未来創政会

おお  
だい  
ち  
く

こう



### ごみの収集運搬について

**Q** 違反ごみの現状と今後の対策は。

**A** 分別不足による未回収・違反ごみへの対応は、日常的に発生する行政の課題であり、地域の課題や負担につながるものと認識している。実際に多くの違反ごみが日常的に発生している状況である。回収できなかった違反ごみのうち、その多くが分別の不十分によるもので、分別数が多い不燃ごみ、資源ごみにおいて、特に違反ごみが多い傾向にある。分別ルールについては、これまで市報のほか、分別ガイドブック、ポスターの配布、市のウェブサイト等によって周知を図ってきたが、今後はさらに検討を深め、より効果的な対応策を、地域と連携しながら進めていきたいと考えている。

**Q** 新ごみ処理施設建設後の収集運搬業務に対する市の考え方は。

**A** 市の収集体制は、これまでの旧町の清掃事業による歴史によってつくられてきたものであり、収集事業者の経験や実績、また公共インフラの担い手としての責任感の下で、地域に根づいてきた業務を日々行っている。現在の収集体制は、新ごみ処理施設の稼働後においても、これまでと同様に継続されるものと考えている。今後は効率的な業務を目指し、現場作業の負担軽減、また持続可能で安定した事業継続のために、各事業者との連携をより進める必要があると考えている。



### 少子高齢化社会に向けた支援強化を

**Q** 市独自のめぐちゃん祝いは子育て支援の強化を目的とし、安心して子供を産み育てられる環境づくりを目指している。具体的な方法を考えていきたい。A オンデマンド交通の導入を進めて、買物だけではなく交通手段を持たない高齢者や全世代にわたった問題と位置づけ取り組みたい。

**A** 市独自のめぐちゃん祝いは子育て支援の強化を目的とし、安心して子供を産み育てられる環境づくりを目指している。具体的な方法を考えていきたい。A オンデマンド交通の導入を進めて、買物だけではなく交通手段を持たない高齢者や全世代にわたった問題と位置づけ取り組みたい。

**A** 子育て世帯を支援する事業を継続すべく、様々な事例を参考に検討したい。介護人材事業も職員の負担軽減など、継続して働ける環境づくりを検討していきたい。

**Q** 地域コミュニティの形成は超高齢化が進む中、生活を支える喫緊の課題である。高齢者が孤立することなく生き



未来創政会

なか  
ざわ  
かず  
ひろ



がいを持って暮らせる環境づくりに買物の支援や移動手段の確保は不可欠である。進捗状況は。

**A** 地域づくり協議会の存在の重要性を強く認識している。具体的な方法を考えていきたい。A オンデマンド交通の導入を進めて、買物だけではなく交通手段を持たない高齢者や全世代にわたった問題と位置づけ取り組みたい。

### 熱中症から子供を守る学校の環境づくり推進を

**Q** 体育館の空調設備の設置を急ぐ必要がある。同時に下校時における熱中症対策に、首を冷やすネッククーラーなどの提供支援が必要ではないか。

**A** 体育館の空調設備は優先順位をつけ、計画的に整備を進めていく。ネッククーラーは今後参考にしたい。

## 南魚沼コシヒカリ不動の 地位を築くために



南魚みらいクラブ

関 せき

常 つね

幸 ゆき



Q

「農は国の基なり」先人が、汗と技術で今日のコシヒカリを築き上げた。そのコシヒカリがふるさと納税で、名実ともに日本一の座に君臨した。さらなる高みを目指し、日本一の座を不動とするため、全市民がコシヒカリの聖地と思い、南魚沼から様々な発信を行うため、行政と農協と生産者と消費者と観光・商工業者が一体となり、コシヒカリの聖地推進協議会(仮称)の設立が大切と思うが市長の考えを伺う。

A

全国に誇るトップブランドの維持向上は非常に重要だと認識している。新たな組織を立ち上げることも一つの方策だと思うが、今、まちづくりのために、私がトップとなる観光戦略推進本部を立ち上げようと考えている。  
そこには、コシヒカリのブラ

## 小・中学生の学力向上に 道徳教育を

Q

「国の基はひとづくり」市内の小・中学生の学力は、新潟県・全国の平均を下回っている。原因は家庭でのゲーム利用で、学習時間が少ないことだ。ゲームが日常化しており、これを絶つのは難しいと言われる。家庭での時間の過ごし方が問題なので、道徳という全く別の切り口から入ったかどうか。市の教育基本計画の真ん中に道徳教育を据えることについて、市長の考えを伺う。

A

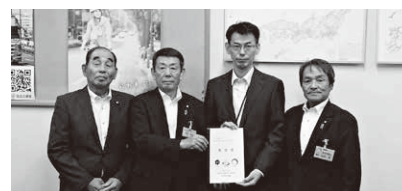
市の将来は人づくり・教育にかかっている。家庭での過ごし方が、子供の将来を左右する。メディア接触の危険性は大人が理解し、対応する。道徳という視点を教育の中で進める。

ンドの維持・向上といった部分も全部絡んでくる。

## 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会で 国、県へ要望活動を行いました

令和7年度は8月21日に3班に分かれ、国、県の機関に要望活動を行いました。

- ① 一般国道17号三俣防災の推進と湯沢町・南魚沼市間の危険箇所等の改修整備について(継続)
- ② 国道17号六日町バイパス・浦佐バイパス及び上越魚沼地域振興快速道路国道253号八箇峠道路・十日町道路の早期開通について(継続)
- ③ 国道17号和南津改良の早期完成について(継続)
- ④ 魚野川及びその支流の事前防災対策について(新規)
- ⑤ 管理不全となっている空き家対策について(新規)
- ⑥ 公共道路等除雪業務実績の経営事項審査の経営規模等評価への加算について(継続)
- ⑦ JR上越線及び只見線の円滑な運行について(継続)
- ⑧ JR只見線のJR上越線浦佐駅又はJR信越線長岡駅までの延伸について(継続)
- ⑨ 越後湯沢駅乗車券購入時の混雑解消について(新規)



国土交通省 道路局



国土交通省 北陸信越運輸局



新潟県 南魚沼地域振興局

### 3 常任委員会 先進地視察

# 我が市にどう生かすか

3 常任委員会で先進地視察を行いました。  
先進地視察から学んだことをどう生かしていくのかがポイントです。

## 産業建設委員会 (令和7年6月25日～26日)

### 山形県酒田市

酒田市乗合タクシー（デマンドタクシー）について



### 秋田県横手市

よこて農業創生大学事業について



## 総務文教委員会 (令和7年7月3日～4日)

### 長野県長野市

教育支援センターの取組について



### 埼玉県上尾市

中学校部活動地域移行モデル事業について



## 社会厚生委員会 (令和7年7月10日～11日)

### 静岡県森町

「お達者」で暮らせるまちづくりを目指して



### 東京都東大和市

こども発達支援センターつむぎ東大和と  
東大和どろんこ保育園について



# 議会カレンダー (予定)

## 臨時会・定例会予告

定例会は12月1日～12月12日の予定です

|        |   |            |     |   |            |
|--------|---|------------|-----|---|------------|
| 11月10日 | 月 | 臨時会        | 9日  | 火 | 本会議 (一般質問) |
| 12月 1日 | 月 | 本会議        | 10日 | 水 | 本会議 (一般質問) |
| 2日     | 火 | 総務文教委員会    | 11日 | 木 | 予備日        |
| 3日     | 水 | 産業建設委員会    | 12日 | 金 | 本会議        |
| 4日     | 木 | 社会厚生委員会    |     |   |            |
| 5日     | 金 | 休会         |     |   |            |
| 8日     | 月 | 本会議 (一般質問) |     |   |            |

**傍聴のご案内**

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階の議場で行います。

## 議会傍聴に来ませんか

市議会の活動を知ろう

①



市役所本庁舎の3階議場入口に「傍聴受付簿」があります。住所、氏名を記入し、「傍聴受付箱」に入れてください。

②



傍聴入口から入ってください。携帯電話や電子機器の電源は切りましょう。

③



空いている席に座ってください。傍聴席での録音や撮影、おしゃべりなどはできません。

毎年3月、6月、9月、12月に行われます。どなたでも傍聴できます。詳しい日程は、市報または市ウェブサイトを確認いただくか、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。

事前の予約は必要ありません。ぜひ、生の議会を見に来てください。

## 議会だよりのご意見、ご感想をお待ちしております!

宛先：議会事務局（☎773-6650） またはQRコードをご利用ください。



### 議会広報編集特別委員

委員長 川 辺 きのい  
副委員長 大 平 剛  
委員 目 黒 哲 也  
委員 梅 沢 道 男  
委員 塩 川 裕 紀  
委員 牧 野 晶

**編集後記**  
猛暑を耐え抜いた稲穂が秋風に揺れ、コンバインに刈り取られていきます。新米が楽しみな季節になりましたが、この議会だよりが皆様のお手元に届くころは、すっかり刈取りが終わった田んぼに、少し寂しさを覚える季節となっていることでしょうか。  
議会でのような審議が行われているのが少しでも伝わるように、そして、多くの人から手に取ってもらえるようにと、編集委員一同、知恵と意見を出し合いながら、定例会ごとの議会だよりを発行してまいりました。現在の編集委員は今号で任期を終え、次号からは新体制となります。ご愛読いただきましたことに感謝を申し上げます。新しい議会だよりにもご期待ください。ありがとうございます。

委員長 川 辺 きのい